

本学会誌は、外科学全般およびこれに関連した領域の進歩に関与する論文を広く募集します。
ただし、投稿者の資格は、本会の会員に限ります。
投稿原稿の掲載の採否は、編集委員会にて決定いたします。

執筆要項

1. 論文の長さ

400字詰原稿用紙（B5版）にて下記の要領でお願いします。原稿枚数には文献を含めます。

臨床的研究：本文20枚以内，図表8枚以内

臨床経験：本文10枚以内，図表4枚以内

症例，実験的研究，手術手技や工夫など：本文5枚以内，図表3枚以内

2. 表紙（第一頁）

題名を付し，著者名，所属（病院名，診療科）を併記して下さい。英文名も併記して下さい。
キーワード：4語以上のキーワード（和文，欧文併記）を付して下さい。

3. 本文

400字詰め原稿用紙（B5版）に目的，方法，結果，考察，結論の順に横書き，楷書で新かなづかいを用い，句読点をはっきり打って下さい。ワープロ使用の際は，20×20字詰め（B5版）として下さい。とくに，ワープロ使用時には，行末は字句の正しい位置で終わってから改行して下さい。

4. 図表

図（写真，シェーマ，グラフなど），表には説明文を入れ，図1 (Fig. 1)，図2，…，表1 (Table. 1)，表2，…，と表記して下さい。写真は，手札程度の鮮明なものを使用し，写真上に矢印・文字が必要な場合はトレーシングペーパーを使用して下さい。なお，図表の説明は，できれば英文でお願い致します。

5. Summary（英文抄録）

ワープロ等を使用し，ダブルスペースで以下の長さにとまとめ論文末尾に添付して下さい。

臨床的研究，臨床経験など 150～200語（words）

症例，実験的研究，手術手技，工夫など 100～150語（words）

6. 文献

論文内容に関係のある文献に限定し、引用順に配列し、本文中の引用個所には番号ルビ^{1), 2)}をつけて下さい。文献の記載方法は、以下の形式に統一して下さい。欧文著者名および欧文雑誌省略名（原則として「Index Medicus」に従う）は、カンマ、ピリオドを打ちません。

〔雑誌の場合〕

著者名：論文名，雑誌名，巻数：頁，発行年

- 1) Sugimoto T., Okada M., Ozaki N., Hatakeyama T., Kawahira T., :Long-term evaluation of treatment for functional tricuspid regurgitation using regurgitant volume: Characteristic differences based on primary cardiac lesion. J Thorac Cardiovasc Surg, 1999 ; 117 : 463-471.
- 2) 吉田正人, 岡田昌義：破裂性腹部大動脈瘤治療のストラテジー. 日本腹部救急医学会雑誌, 1999 ; 19 : 303-311.

〔書籍の場合〕

著者名：題名，署名，編集者名，発行所名，発行地名，版数，発行年，巻数，初頁－終頁。

- 1) Okada M:Current Trends of Diagnosis and Surgical Treatment for Venous Diseases; Current Topics in Phlebology (ed. by M.Okada), Monduzzi Editore, 1997 Italy, pp 3-11.
- 2) 吉田正人, 岡田昌義：血管内治療法で使用される器機の種類と性能. ここまで進んだ血管内治療法. (岡田昌義編著), 永井書店, 1998, 東京, 37-50.

7. 著作権について

- 1) 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する承諾権は、兵庫県全外科医会に所属します。
- 2) 他の文献から文章・図・表などを転載される場合には、あらかじめ著作権者の了解を得て下さい。原著者との交渉は投稿者において直接お願いします。それらには出所（著者名：書名，雑誌名，発行年，巻数：頁数）を明示して下さい。

8. 別刷

筆頭執筆著者には掲載誌1部と別刷30部を贈呈いたします。別刷をそれ以上ご希望の方は有料で申し受けます。

9. 原稿送付先

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-4-5

交友印刷株式会社内 兵庫県全外科医会 学会誌編集委員会 宛